

全学共通科目の履修登録日程などの変更について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2018年11月29日）

平成31年度からの変更点1として人数制限の申し込み受付期間などを授業開始前に変更するとのことですが、この変更点についての意見です。

このような変更をすると初回授業を受けることなしに人数制限の申し込みをすることになり、授業の進め方や具体的内容を確認できずに時間割りを組むこととなります。初回授業を受けてから履修する授業を決められるべきであり、実際人数制限のない授業ではそうなっています。シラバスで確認できる情報では実際の授業の進め方や具体的な内容はわかりません。

しかも人数制限科目への申し込みは、一コマに一つまでしかできず、初回授業前に申し込む形式では受けた人数制限科目が同じコマに複数個あった場合、今までは初回授業を片方受けてみたり両方をのぞいてみたりする事で選択の余地があったのが、今回の変更によってできなくなってしまいます。これは学生の学習の自由をうばう行為ですので変更を見送ってほしいと考えています。

また、「楽単情報」などによって少数の授業に申込者が殺到する現象が加速する可能性も大きいです。「楽単情報」による殺到は本当に授業内容からして受けた人が受けられない状況を作るものであるので解消する方向ではなく加速させる方向に動であろう今回の変更は見送るべきだと考えます。

【回答】（回答日：2019年3月25日）

（国際高等教育院事務部）

回答が大変遅くなりまして申し訳ありません。

平成30年11月にKULASIS等を通じて「平成31（2019）年度から全学共通科目の履修登録日程等の変更について（予定）」でお知らせしたとおり、履修希望者が多く見込まれるなどにより人数制限を実施する科目については原則として授業開始前にKULASISを通じて申込受付と結果発表を行います。履修登録期間は授業第一週の後に設けますので、抽選で履修を許可された科目を実際に受けてから履修登録するか決めることができます。また、実際に初回の授業を受けた後で人数制限を実施した科目に申し込みたい場合には、その授業に空き定員があれば指定した期間に先着順で追加申込を受け付けますので「学生の学習の自由をうばう」ことはありません。